

多読ってなに？

英語って難しい！でも、英文をスラスラ読めるようになりたい！

そんなみなさんに「多読」を紹介します。

自分のペースで学習を進められる多読は、近年注目されている英語学習法です。

図書館にある多読用の英語資料を活用すれば、

いつのまにか英文をスラスラ読めるようになっているかも！？



What's 多読?

辞書を使わずに、自分にとって読みやすい内容の本をたくさん読むことで、英語力を身につける語学学習法です。



多読の
ポイント

原則①
辞書を引かない
読書の流れを止めない
(文法の理解よりも「物語を
読む」こと重視)

原則②
わからないところは
飛ばす
わかるところをつなげて読めばOK!

原則③
つまらなくなったら
やめる
無理に読まないこと!
他にもたくさん本はあります

参考: 古川昭夫、神田みなみ編著; 黛道子 [ほか] 著. 英語多読完全ブックガイド: めざせ!1000万語: 多読におすすめの洋書、約一万四千冊のデータを紹介! = The complete book guide for extensive reading. 改訂第4版. コスモピア. 2013. 523p [女大図・開架 請求記号830.7/114]

多読の方法

多読用の本として、様々な出版社から数多くのシリーズが出版されています。そのほとんどのシリーズでは、本文中に出てくる単語数等に応じて本ごとにレベルが設けられています。まずは簡易なレベル1から始めるもよし、英語に自信があるならレベル3や4から始めるもよし。小説からノンフィクションまで多様なジャンルが揃っているため、好きなジャンルから自分に合ったレベルの本を選んで読み進めてみてください。

多読の本を利用するには

大学図書館1階に多読本のコーナーがあります。また、付録のCDも多数あります(もちろん貸出できます)!



多読本ではないけれど、気軽に読める英語の雑誌もあります

大学図書館2階雑誌室

『The English journal』 『English express』
『Time : the weekly newsmagazine』

女子大学図書館2階雑誌閲覧室

『多読多読マガジン』
※直接女子大学図書館(戸山)に赴き利用してください。

例えばこんな風に多読の本を読んでみよう

英語というだけで何となく苦手。でもチャレンジしたい!

Starters
(目安: TOEIC250点以下)

外国映画が大好き! 原作を英語で読めるようになったらもっと楽しそうだろな。

Level 2
(目安: TOEIC350点)

普段から英語には慣れているけれど、さらにスキルアップしたい。

Level 3
(目安: TOEIC400点)

世界中のベストセラーや話題書を英語で読んでみたい! 英語圏の友人と感想を話し合いたい。

Stage 3
(目安: TOEIC380点)

多読本
コーナー

多読本
コーナー

Oxford Bookworms Library
『Starman』
Phillip Burrows and Mark Foster
[Oxford University Press]
請求記号 837A/O93o/S
オーストラリアの砂漠のど真ん中で、Bill はボツンと立っている男性を見つめます。この男性の正体は一体...?

Penguin readers
『Jurassic Park III』
adapted by Scott Ciencin; based on a motion picture screenplay written by Peter Buchman and Alexander Payne & Jim Taylor; based on characters created by Michael Crichton; retold by David Maule
[Pearson Education]
請求記号 837A/P37p/2
シリーズ全てにファンを持つジュラシックパークより1冊。先日、映画の最新作が日本でも公開されたことを記憶しているあなたにぜひ。

Penguin readers
『Forrest gump』
Winston Groom; retold by John Escott
[Pearson Education]
請求記号 837A/P37p/3
不器用だが心優しい青年 Forrest の数奇な人生を英語で辿ってみましょう。

Oxford Bookworms Library
『The secret garden』
Frances Hodgson Burnett; retold by Clare West; illustrated by Jenny Brackley
[Oxford University Press]
請求記号 837A/O93o/3
原著は古典作品の名作。少女と少年が「秘密の花園」を通して成長していく物語が丁寧に描かれています。

Penguin readers
『Sherlock Holmes Short Stories』
Sir Arthur Conan Doyle; selected and retold by Anthony Laude
[Pearson Education]
請求記号 837A/P37p/5
不朽の名作、シャーロック・ホームズの短編集。不審な死、親指を失ったエンジニア、珍しい名前を共有している2人の男等、6つの奇妙なミステリーが収録されています。

Penguin readers
『Les Misérables』
Victor Hugo; translated by Norman Denny; retold by Chris Rice
[Pearson Education]
請求記号 837A/P37p/6
映画、舞台でも話題を呼んだ「レ・ミゼラブル」を、英語で堪能してはいかが?

国際社会科学部 オニール・テッド教授へインタビュー

先生が考える多読の良いところは何でしょうか?

多くの学生は、受験勉強によって「英語=難しいもの」「たくさん勉強しないと修得できないもの」と思ってしまうようです。これが英語アレルギーや英語に対する苦手意識に繋がっているため、とにかくその意識をResetさせたいと考えています。

多読は、自分が読みたい本・読みやすい本・楽しいと思える本をとにかく多く読む英語学習法です。これにより、今までの「英語=難しいもの」から「英語=ラク、楽しい、エンジョイ!」という意識づけをしたい。多読はその点でとても効果があると思います。



多読資料の中で先生が特にオススメする本

何より自分が「おもしろそう!」と思った本を読んでみてください。多読の本はジャンルが豊富ですので、自分に合うものがきっとあります。

最初から難しいレベルの本にチャレンジする人も多いですが、簡単なものから始めてみた方がよりスムーズに楽しめますよ。

先生が考える「英語習得のコツ」

例えば皆さんが普段使う「Wikipedia」ですが、実は「Simple English Wikipedia」というものがあるのを知っていますか?通常の英語版 Wikipedia に比べて簡単でわかりやすい英語のみで書かれていますので、英語学習者にとってとても勉強になります。

他に、スマホの言語設定を英語にしまうのはどうでしょうか?私は今インドネシア語を勉強しているのですが、最近スマホの言語設定をインドネシア語に変えました。これにすると嫌でも勉強しなきゃ、となりますし、勉強することを思い出します(笑)。



『Moon quest』
Anson Montgomery; adapted by Ted O'Neill
[McGraw-Hill Education (Asia)]
請求記号 837A/G53c/900

オニール先生が原作をわかりやすく編集した1冊。ゲーム感覚で読み進めると選択肢が変化します!

図書館からのお知らせ

書庫狭小化のため、大学図書館資料の一部（雑誌）を外部書庫に移動しました。
外部書庫に移動した資料は取り寄せて利用できます。申込方法は以下の通りです。

申込窓口	大学図書館1階カウンター
対象	GLIM/OPAC 配架場所「大学図・外部書庫」と表示された資料
資料到着までの時間	最長1週間（毎週水曜に取寄便で到着） ※申込の量や時間によって1週間以上かかる場合もあります
到着連絡	メール（学籍番号または教職員番号 @gakushuin.ac.jp）
取り置き期間	3日間



ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。
ご不明な点は大学図書館2階レファレンスカウンターへお問い合わせ下さい。



頑張った、わたし! 頑張るぞ、わたし!

文学部
ドイツ語圏文化学科 教授
小林 和貴子先生

はい、はい! とふたつ返事で即答したものの、本棚に関するこだわりは、えーっと、うーんと、あんまりないのです。本は読んだらその辺に積み上げてしまう癖があって、家を見回すとあちこちに本のミニ・タワーがあって……。本があるところが本棚です、なーんて。あ、でも棚じゃないか。

それでは、私の研究室の本棚に目を向けてみましょう。あった、あった、懐かしの刑事ヴァランダーシリーズ。大学院生の頃、東京・八重洲ブックセンターの洋書



刑事ヴァランダーシリーズ。
お気に入りの外国語で、読んでみてはいかが!?



このなかに、これから読まれる本たちが……
1日24時間じゃ足りない!

(ドイツ語)コーナー(!)が大好きで、足しげく通っては、アルバイト代をみんな使っちゃったんじゃないか、というくらいドイツ語の本にCD(本の朗読版)を買い漁っていました。その頃に、表紙に魅かれて衝動買いしたスウェーデン発の推理小説です。作者はヘニング・マンケル。日本語訳もありますが、当時はそんなことも知らずに、ドイツ語の勉強にと読み始めたところ、これが、超、超、超、面白い! 読破できたときは、私にもドイツ語の本が読めるんだ……と、妙に感動したのを覚えています。

思えば、本棚に並ぶ数々のドイツ語の本(青少年向けや推理小説が多い)は、頑張った証。うん、エライ、よく読んだ! でも、買った方がいいものの、まだ読んでいない本が大量に並んでいるんだよね……。はい、これから頑張ります。

来ぶらり No.102 2016年12月15日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者: 遠藤久夫教授 編集委員: 内藤沙織・藤本智美

1階貸出・返却カウンター (内線 2397) : ☎ 03-5992-1009(直通) 2階レファレンスカウンター (内線 2395・2396) : ☎ 03-5992-9249(直通)

「来ぶらり」のバックナンバーは (<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>) で公開しています。

ISSN 2186-6724